

令和 7 年度

西能取南線家屋調査委託

特 記 仕 様 書

特記仕様書（調査版）

1 総則

本業務の実施に関しては、本特記仕様書によるほか、用地調査等共通仕様書及び関係法規・規則等を遵守して行うものとする。

2 一般

2-1 概数

業務数量総括表の「摘要」欄等に「概数」と記して示した数量は概数であり、数量が確定できない場合を除き、履行前に数量を確定することとし、必要に応じて設計変更する。なお、過大な出来高に対して変更するものでないことに留意すること。

概数にかかる業務の実施にあたっては、必要に応じて資料等を作成のうえ、業務担当員と着手前に十分協議をすること。

2-2 調査打合せ

調査業務共通仕様書 1-1-13 による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

項目	作業段階	打合せ場所	備考
着手時	調査作業着手時	網走市南 5 条東 1 丁目 10 番地 網走市役所	
中間	業務履行状況の確認時	〃	
最終	成果品内容の確認時	〃	
合計	3 回		

3 工程関係

関連工区の現場代理人との協議の上、調査工程を検討すること。

- ・西能取南線道路改良工事

（工期：令和 7 年 6 月 26 日～令和 7 年 12 月 30 日）

4 調査関係

4-1 地元関係団体

本業務を進めるにあたっては、必要に応じて、地元関係団体と調整を図り実施すること。

4-2 貸与資料等

該当なし

4-3 関連業務

該当なし

5 調査条件

5-1 調査基本条件

調査作業における基本条件は次のとおりである。

該当	項 目	基 本 条 件
○	環境影響調査家屋調査	(事前調査) 木造建物 B 70m ² 以上 130m ² 未満 1 棟 130m ² 以上 200m ² 未満 1 棟
○	騒音振動調査	2 側線 2~4 測定箇所 バックホウ稼働時

5-2 調査特記条件

騒音振動調査において測定期間中に基準値を超える騒音・振動を確認した場合、その場で受託者が現場代理人に是正支持を行い、業務担当員に報告すること。

5-3 調査作業の留意点

建設内部調査については住民に確認を行い、監督員に報告したうえで調査を実施すること。

6 成果品

6-1 成果品納入

成果品納入時は、社内検査報告書に調査内容が確認出来るよう必要事項を記入の上、提出すること。

その他調査業務上重要な必要事項を適宜記入のこと。

6-2 提出すべき成果品

- 1 当該工事は電子納品対象とする。電子納品にあたっては、網走市電子納品の手引き（案）【委託編】（以下、「手引き【委託編】」という）に基づき、工事監督員と協議の上、電子化の範囲を決定しなければならない。これにより難しい場合には、協議の上、従来の納品とする。
- 2 成果品は、手引き【委託編】に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R 又は DVD-R）で 1 部提出する。なお、手引き委託編】の解釈に疑義がある場合は、担当員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。
- 3 工事完成図書の提出にあたっては、電子成果品事前チェックシート等による確認や目視による確認を行い、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。本業務は電子納品対象業務とする。

7 設計変更

7-1 調査業務

契約書第 17 条から第 18 条及び調査業務共通仕様書 1-1-24 の 2 の（3）に規定する委託者と受託者に規定する協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 5 調査条件に示す「基本条件」に変更が生じた場合。
- (2) 業務数量総括表に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 2-2 に示す「調査打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 6-2 に示す「成果品」に変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他
- (7) (1)～(6)に伴い、業務期間の変更が生じた場合。

7-2 業務箇所の変更

該当なし